

**令和8年度一般入試（前期日程）  
全学部共通（国語）出題意図**

出題にあたっての  基本方針	<p>高等学校学習指導要領(国語)に示された内容に基づき、人間活動の基盤となる言語による思考・認識の能力を評価する。</p> <p>具体的には、近代以降の文章や古典の文章をもとに、文字力・語彙力・文法力など言語にかかわる力、思考力・想像力・認識力など読解力にかかわる力、さらに、それらの力の表出を通して捉えられる表現する力などを総合的に評価する。</p>
----------------------	---

区分	大問	中間	小問	出題意図
【一】	問一			基本的な漢字の書き取りと読み取りの問題。単なる知識の確認ではなく、漢字に対する総合的な理解力が求められる。
	問二			基本的な語彙力を問う問題。慣用的な言語表現の意味を正しく把握する理解力が求められる。
	問三			各空欄に入れる語句を吟味する選択問題。筆者の論理展開を理解した上で、各空欄に該当する語句を正確に識別する判断力が求められる。
	問四			傍線部の内容を説明する記述問題。本文の主旨に沿って傍線部の意味を正確に理解する読解力と、その内容を簡潔に記述する表現力が求められる。
	問五			傍線部の内容を吟味する選択問題。傍線部の内容を適切に把握する読解力と、その内容と合致する選択肢を的確に識別する判断力が求められる。
	問六			空欄に入れる表現を吟味する選択問題。本文の内容を適切に理解する読解力と、空欄に該当する表現を正確に識別する判断力が求められる。
	問七			傍線部の内容を説明する記述問題。本文の主旨に沿って傍線部の意味を適切に理解する読解力と、その内容を的確に記述する表現力が求められる。
	問八			傍線部の内容を説明する記述問題。本文の文脈に沿って傍線部の意味を正確に理解する読解力と、その内容を的確に記述する表現力が求められる。
	問九			傍線部の内容を説明する記述問題。本文の主旨に沿って傍線部の意味や語句を適切に理解する読解力と、その理由を簡潔に記述する表現力が求められる。
	問十			傍線部の内容を説明する記述問題。本文の主旨に沿って傍線部の意味や語句を正確に理解する読解力と、その内容を簡潔に記述する表現力が求められる。
	問十一			本文全体の内容を吟味する選択問題。筆者の主張を適切に把握する読解力と、その内容と合致する選択肢を的確に識別する判断力が求められる。

【二】	問一			文学史に関する基本的な知識を問う問題。主要な古典作品を体系的に把握しておくことが求められる。
	問二			古文の読解力を問う問題。本文中に登場する人物達の関係性を正しく理解する力が求められる。
	問三			古文の基礎知識と読解力を問う問題。語彙や文法事項の正確な知識に基づき、文脈に即して的確な現代語で表現する力が求められる。
	問四			古文の基礎知識と読解力を問う問題。語彙や文法事項に関する知識も活用しながら解釈する力、及び選択肢を見極める判断力が求められる。
	問五			古文の読解力と表現力を問う問題。物語の展開を正しく把握した上で、適宜言葉を補いつつ適切に説明する力が求められる。
	問六			古文の読解力と表現力を問う問題。本文の構成を正しく理解した上で、適切に説明する力が求められる。
	問七			和歌の解釈を問う問題。本文の展開をきちんと把握した上で和歌を適切に解釈する力と、それを的確な現代語で表現する力が求められる。
	問八			古文の読解力を問う問題。本文の内容を正確に把握する理解力と、選択肢を見極める判断力が求められる。
【三】	問一			漢文の基本的な語彙力を問う問題。
	問二			漢文の読解力を問う問題。人物関係をおさえ、会話の内容を正確に把握し、現代語で表現できる力が求められる。
	問三	(1)		漢文の訓読法を理解しているかを確認する問題。訓点と送り仮名が付いた漢文を書き下し文にする力が求められる。
		(2)		漢文の読解力を問う問題。訓読漢文を現代語訳する力が求められる。
	問四			漢文の訓読法を理解しているかを確認する問題。訓点を施す力が求められる。
問五			漢文の読解力を問う問題。本文全体の文脈と話の展開を正確に理解し、選択肢を見極める判断力が求められる。	

全学部共通（国語） 正解・解答例  
 令和8年度一般選抜（前期日程）



六	五	四	三	二		一	
				イ	ア	④	①
⑤	③	多様な情報の中からある要素を選び出し、空間と時間を超えて、簡単な構造として示すことは、人間のような大きな脳を持たない昆虫の動作でも可能であるということ。	③	他のものと区別されてはつきりと目立つ	それ相当地に、ふさわしく	繁栄	抵抗
						⑤	②
						飛躍	逸脱
						⑥	③
						粘土	ちみつ

七	八	九	十	十一
<p>世界の中で特定のものを境界で区別し概念を確立するという脳の動作には、言語は不要であるという事。</p>	<p>数学は、一つの物体としてのリンゴを1という記号にしたように、徹底した抽象化を進めて現実から離れたからこそ、かえって万有引力の定義を見出したり、落下する物体の位置を予測したりするといった能力を高めることができたということ。</p>	<p>創造とは言語のような既存情報や常識を超越したなにごとであり、その意味での創造には非言語的な脳の機能が大きな役割を果たしているから。 (別解) 言語による情報はすべて既存のものであるが、創造は既存のものではなく、その起点においては、非言語的な脳の機能が重要な役割を果たしているから。</p>	<p>数式等の記号を含む言語による世界の把握は脳の機能の一部に過ぎないが、人間は言語や意識だけが世界を把握できる道具と思いがちだが、言語や意識の限界を心に留めることで思い上がりを抑えることができるということ。</p>	<p>② ----- ⑤</p>

一	二	三		四	五	六	七	八
②	a、c	イ	この声の主を知りたいものだなあ。	⑤	大納言は、上品ですばらしい受け答えをした女性がいったいどういった人なのか気になってしまい（恋心を抱いてしまい）、その素性を明かしたい思いを我慢できなくなったということ。	その女性が身分が高く自分からすれば手の届かない存在であったため、かなわぬ恋に悩むことになったということ。（別解）院の寵愛を受けている人物に思いを抱くことは許されなかったため、かなわぬ恋に悩むことになったということ。	総じて秋に人と別れるのは哀しいことなのに、さらに物悲しくなるような鳴く音を添えないでおくれ、野辺の松虫よ。	③

五	四	三		二	一
		(2)	(1)		ア
⑤	使 <sub>ニ</sub> 玉 人 <sub>ラシテ</sub> 為 <sub>ニ</sub> 之 <sub>ガ</sub> 攻 <sub>メ</sub> 之 <sub>ヲ</sub>	私のようないやしい者が璧玉をふところにしてしていると、村里（郷里）を越えて行くことはできません。	小人壁を懐かば、以て郷を越ゆべからず。	私（子罕）は貪欲でないことを大切にし、宋人は璧玉を大切にしている。その璧玉を私に献上すると、私は貪らないという宝を失い、宋人は璧玉を失ってしまうので、両者ともに宝としている大切なものをなくしてしまう、ということ。	ア
					ず
					イ
					あ
					へて
				ウ	
				し	
				か	